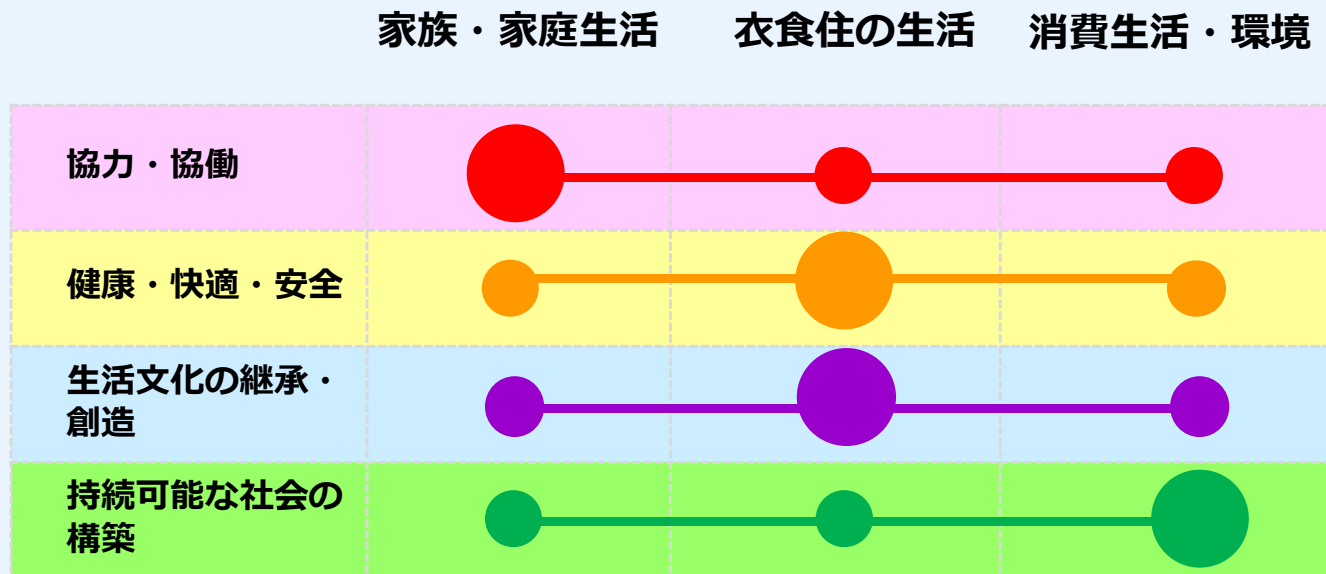


○家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係わる生活事象について、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点から解決すべき問題を捉え、よりよい生活の実現に向けて考察すること。

自立し共に生きる生活の創造



※主として捉える見方や考え方については、大きい丸で示している。
取上げる内容や題材構成等により、どのような見方や考え方を重視するかは異なる。

技術・家庭科（技術分野）の見方や考え方の整理（案）

平成28年5月11日教育課程部会
家庭、技術・家庭ワーキンググループ
資料7-2

技術分野の見方や考え方:技術によって問題を解決する際の見方や考え方

	対象	見方	考え方
技術分野	生活や社会で利用されている技術について、	材料、生物、エネルギーや情報の特性に着目するとともに、問題を見出し、解決するに当たり、倫理観をもち、安全性、社会からの要求、環境負荷、経済性等を踏まえつつ、	材料の生成・成形、生物の育成環境、エネルギーの変換・伝達、情報の処理手順等を、最適なものとなるよう考察すること。
内容A	材料の技術について	材料の組織や特性に着目するとともに、問題を見出し、解決するに当たり、倫理観をもち、使用時の安全性、社会からの要求、耐久性や機能、生産効率、環境への負荷、資源の有限性、費用等を踏まえつつ	材料の製造方法等を、最適なものとなるよう考察すること。
	加工の技術について	構造、加工の特性に着目するとともに、問題を見出し、解決するに当たり、倫理観をもち、使用時の安全性、社会からの要求、耐久性や機能、生産効率、環境への負荷、資源の有限性、費用等を踏まえつつ	材料の必要な形状・寸法への成形方法、材料の構造等を、最適なものとなるよう考察すること。
内容B	生物育成の技術について	育成する生物の成長、はたらき、生態の特性に着目するとともに、問題を見出し、解決するに当たり、倫理観をもち、使用時や消費する際の安全性、社会からの要求、生産のしくみ、環境への負荷、品質・収量等の効率面、生命倫理、費用等を踏まえつつ	生物の育成環境の調節方法等を、最適なものとなるよう考察すること。
内容C	エネルギー変換の技術について	電気、運動、物質の流れ、熱の特性に着目するとともに、問題を見出し、解決するに当たり、倫理観をもち、使用時の安全性、社会からの要求、出力、環境への負荷、省エネルギー、費用等を踏まえつつ	エネルギーの変換、伝達、利用する方法等を、最適なものとなるよう考察すること。
内容D	情報の技術について	情報の表現、記録、計算、通信等の特性に着目するとともに、問題を見出し、解決するに当たり、倫理観をもち、使用時の安全性、社会からの要求、情報の倫理やセキュリティ、活用、管理、システム、費用等を踏まえつつ	情報のデジタル化や処理の自動化、システム化等による処理の方法等を、最適なものとなるよう考察すること。